FUJIFILM

BL00881-101

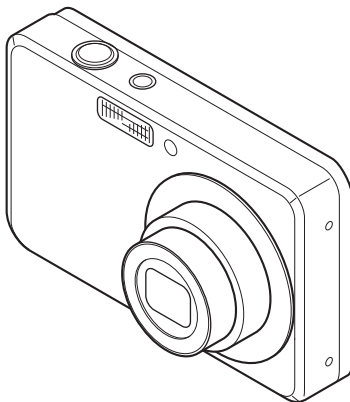
DIGITAL CAMERA

FINEPIX J27
FINEPIX J30

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス J27/J30、および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

はじめに

カメラをお使いになる前に

次の手順に従って
準備してください

1

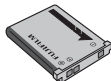
箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
お取り扱いに関する別紙を
お読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

充電式バッテリー
NP-45A（1 個）

専用 USB
ケーブル（1 本）

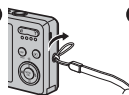
ストラップ（1 本）

専用 AC
アダプター（1 本）
（電源部分の形状は、
仕向け国によって
異なります）

Software for FinePix CD-ROM（1 枚）
**ご使用の前にソフトウェア許諾書を
必ずお読みください。**

取扱説明書一式
（取扱説明書の形態は、仕向け国によって異なります）

ストラップの取り付け方

右のようにしてストラップを
取り付けてください。

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

モニターに表示される警告の意味と原因を紹介しています。

カメラに関する専門用語を解説しています。

撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、または SDHC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- **注意**：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- **チェック**：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。
- **メモ**：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶モニターのイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。

製品名の記載について

- 本書は、FinePix J27、FinePix J30 の 2 機種の取り扱いについて説明しています。
- FinePix J27、FinePix J30 の仕様は下記のように異なりますが、画面表示や操作は各機種共通です。

機種名	有効画素数	記録画素数（ピクセル）
FinePix J27	1020 万画素	10M F／10M N／9M 3:2／5M／3M／2M／03M
FinePix J30	1220 万画素	12M F／12M N／11M 3:2／6M／3M／2M／03M

- 本書のイラストや液晶モニターの画面表示は、FinePix J30 のものを使用しています。ただし、機種固有の説明には該当する機種の名称を記載します。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

カメラの設定、操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
カメラの時計を合わせたい。	日時設定	P.19
カメラの時計を旅行先の現地時間に合わせたい。	世界時計	P.80
液晶モニターが自動的に消えないようにしたい。	自動電源 OFF	P.79
シャッター音や操作音が鳴らないようにしたい。	マナーモード	P.31
	操作音量、シャッター音量	P.76
カメラ本体のボタンの名前を知りたい。	各部の名称	P.10
液晶モニターに表示されるアイコンの名前を知りたい。	液晶モニターの表示	P.11
カメラメニューを使いたい。	メニューを使いこなす	P.63
液晶モニターに表示される警告表示の意味を知りたい。	警告表示	P.90
バッテリーの残量がどれくらいか知りたい。	バッテリー残量について	P.20
撮影した画像を自宅のプリンターでプリントしたい。	プリンターにカメラを直接つないでプリントする	P.57
プリントサービス店で写真のプリントを注文したい。	プリントサービス店でプリントする	P.60
撮影した画像をパソコンで見たい。	画像をパソコンに転送する	P.49
インターネットで撮影した画像を共有したい。	画像を Fotonoma で共有する	P.56

撮影について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
同じメモリーカードであと何コマ撮影できるか知りたい。	撮影可能枚数	P.96
カメラに任せて簡単に撮影したい。	📷（オート）で撮影する	P.20
人物の顔をきれいに撮りたい。	顔キレイナビで撮影する	P.25

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
撮影シーンの認識から設定までカメラに任せて撮影したい。	SR AUTO シーンぴったりナビで撮影する	P.35
状況に合ったモードを選んで撮影したい。	シーンに適したモードで撮影する	P.34
パノラマ写真を撮りたい。	パノラマモードで撮影する	P.36
被写体に近づいて撮影（近距離撮影）したい。	近距離撮影（マクロ）する	P.29
暗い場所でもフラッシュを使わずに撮影したい。	フラッシュ撮影する	P.30
人物の赤目現象が起きないように撮影したい。		
明るい場所でも、フラッシュを必ず光らせたい。		
集合写真に自分も写りたい。	セルフタイマーを使って撮影する	P.32
画面の中央にいない被写体にピントを合わせたい。	AF/AE ロック撮影する	P.27
動画を撮影したい。	動画を撮影する	P.45

再生について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
撮影した画像をすぐ確認したい。	撮影した画像を見る	P.24
簡単操作で画像を 1 コマ消去したい。	消去ボタンで画像を消去する	P.24
画像を 1 コマまたはすべて消去したい。	画像を選んで消去する	P.43
画像を拡大して見たい。	再生ズーム	P.40
複数の画像を一度に見たい。	マルチ再生する	P.41
特定の日に撮影した画像だけ見たい。	日付再生する	P.42
大事な画像を間違えて消去しないように保護したい。	プロテクト	P.71
液晶モニターにアイコンが表示されないようにしたい。	DISP/BACK ボタン	P.39
画像をテレビで見たい。	画像をテレビで見る	P.48

目次

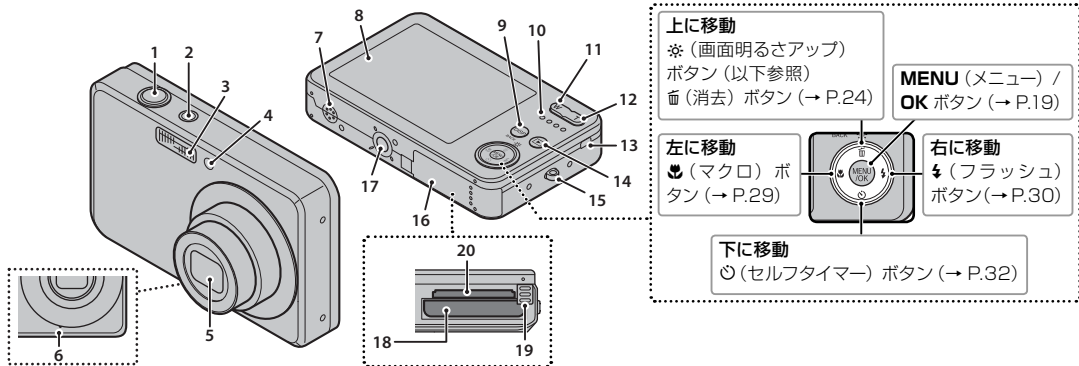
はじめに

カメラで使えるアクセサリー 81

困ったときは 83

資料 94

各部の名称

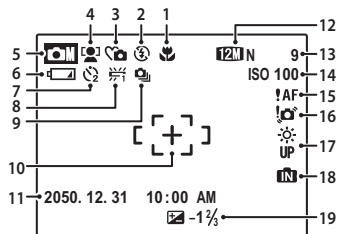
使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページをご覧ください。

1	シャッターボタン	P.22
2	**ON/OFF**（電源）ボタン	P.18
3	フラッシュ	P.30
4	セルフタイマーランプ	P.32
5	レンズ / レンズカバー	
6	マイク	P.46
7	スピーカー	P.47
8	液晶モニター（LCD）	P.11
9	**DISP**（表示）/**BACK**（戻る）ボタン	P.22、39
	（マナーモード）ボタン	P.31
10	インジケーターランプ	P.23
11	**W**（広角ズーム）ボタン	P.21、41
12	**T**（望遠ズーム）ボタン	P.21、40
13	USB マルチコネクター	P.13、48、55、57
14	▶（再生）ボタン	P.39
15	ストラップ取り付け部	P.2
16	バッテリーカバー	P.12
17	三脚用ねじ穴	
18	バッテリー挿入部	P.12
19	バッテリー取り外しつまみ	P.12
20	メモリーカードスロット	P.15

メモ : 画面明るさアップ

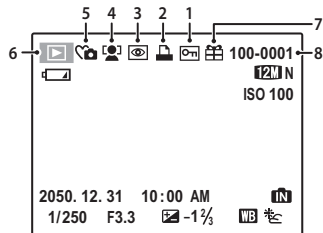
撮影時に ☼（画面明るさアップ）ボタンを押すと、屋外などの明るい場所で液晶モニターを確認しにくいときに、液晶モニターを一時的に明るくできます。撮影すると、明るさアップは自動的に解除されます。

液晶モニターの表示

撮影時および再生時には、モニターに次の情報が表示されます。

■ 静止画撮影時

1	マクロ（近距離）................P.29	11	日付・時刻......................... P.19
2	フラッシュ.........................P.30	12	ピクセル.............................P.64
3	マナーモード P.31	13	撮影可能枚数 P.96
4	顔キレイナビ....................P.25	14	感度...................................P.65
5	撮影モード........................P.34	15	AF 警告.............................P.22
6	バッテリー残量表示 P.20	16	手ブレ警告........................P.31
7	セルフタイマー..................P.32	17	画面明るさアップ............. P.10
8	ホワイトバランス P.67	18	内蔵メモリー *
9	連写..................................P.67	19	露出補正...........................P.66
10	AF フレーム.....................P.22		

* メモリーカードがカメラに入っていないため、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

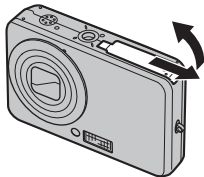
■ 再生時

1	プロテクト P.71	5	マナーモード P.31
2	プリント予約..................... P.61	6	再生モード........................P.39
3	赤目補正 *.........................P.69	7	プレゼント P.39
4	顔キレイナビ....................P.25	8	コマ NO. P.77

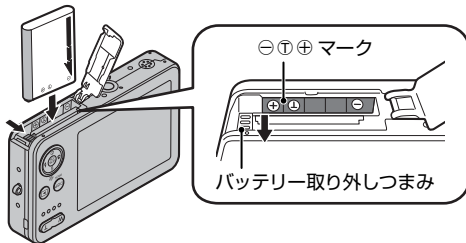
* このカメラには撮影時の赤目補正機能が搭載されていませんが、再生メニューで赤目補正された画像を再生するとこのアイコンが現れます。

撮影の準備

バッテリーを入れる

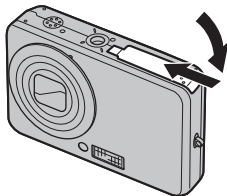
カメラにバッテリーを入れる方法を以下に説明します。

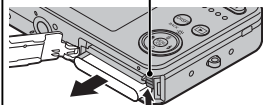
1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーを入れます。

- 金色の端子を下にして、バッテリー挿入部の中の ⊖Ⓣ⊕ マークにバッテリーの向きを合わせます。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

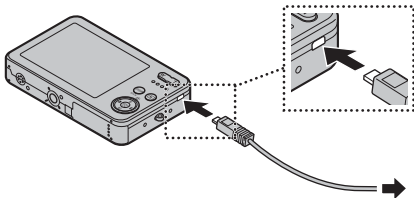
バッテリー挿入時のご注意

- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- 充電済みのバッテリーを挿入しても電源が入らない場合は、バッテリーの挿入方向を確かめてください。

バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。このカメラにはバッテリー充電機能が搭載されていますので、お使いになる前にカメラでバッテリーを充電してください。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認し、付属の専用 AC アダプターを USB マルチコネクターに接続します。

表示に従って正しくセットしてください。

2 専用 AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

インジケーターランプが赤色点灯して充電を開始します (→ 23 ページ)。

3 充電が終了すると、インジケーターランプは消灯します。

☛ **チェック**

電源がオンになっていると、充電をしないで外部電源モードでカメラが動作します。

バッテリーについてのご注意

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- このカメラでは、NP-45A（付属品）および NP-45（別売）が使用できます。
- NP-45A は必ずこのカメラ本体で充電してください。それ以外のバッテリーチャージャーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意はお取り扱いに関する別紙をご覧ください。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。

バッテリーの寿命について

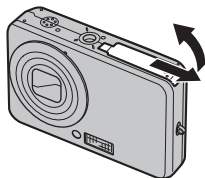
使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

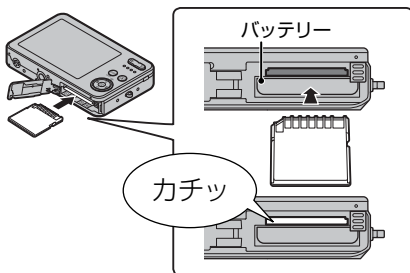
充電についてのご注意

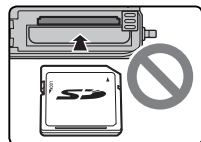
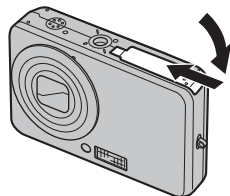
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

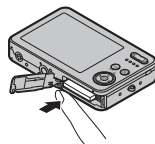
メモリーカードを入れる

撮影した画像は、内蔵メモリーまたは市販の SD メモリーカード /SDHC メモリーカードのどちらかに記録されます。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

2 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカード挿入時のご注意

メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源がオフになっていることを確認して、カードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

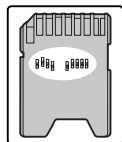
■ 使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC メモリーカードの使用をおすすめします。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/ をご覧ください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

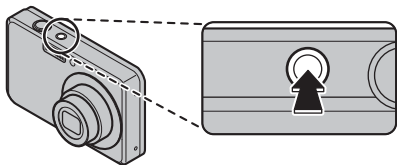
メモリーカードについてのご注意

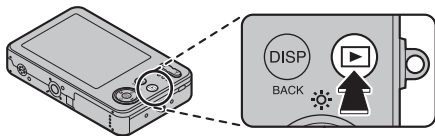
- SD/SDHC メモリーカードをカメラに入れるときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

- 未使用の SD/SDHC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (→79 ページ) してからご使用ください。
- miniSD アダプターや microSD アダプターの中には、アダプター裏面に金属端子が露出しているものがあります。このようなアダプターをお使いになると、異常接触となる恐れがあり、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

  また、外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの削除や名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。
- SD メモリーカード、内蔵メモリーについてのご注意はお取り扱いに関する別紙をご覧ください。

電源をオンにする / オフにする

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを約 1 秒間押すと、再生モードで電源がオンになります。

再生中に ▶（再生）ボタンを押すと電源がオフになります。

注意

- ON/OFF（電源）ボタンを押すと、レンズカバーが開いてレンズが繰り出します。レンズ部を手で押さえていると、誤作動や故障の原因になります。
- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- ON/OFF（電源）ボタンでは、電源供給を完全には遮断しません。

メモ：自動電源 OFF

一定時間内に操作が何も行われないときは、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの**自動電源 OFF**（→79 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

使用する言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語を選び、日時を設定します。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選択します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

言語が設定され、日時設定画面が表示されます。

4 設定する項目 (年、月、日、時、分) を ◀▶ で選択し、▲▼ で変更します。

5 **年 , 月 , 日**を選択します。

6 **年 , 月 , 日、月 / 日 / 年、日 , 月 , 年**から日付の並び順を選択します。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。

言語と日時の設定が完了し、撮影を開始できます。

☛ チェック

言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで再設定できます (→75 ページ)。

メモ : カメラの時計

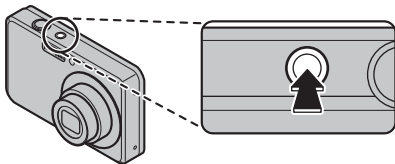
バッテリーを取り外して長期間保管したときは日時設定がクリアされ確認画面が表示されます。バッテリーを入れて約 2 時間以上経過していれば、カメラから取り外しても、約 24 時間保持されます。

基本的な撮影と再生

（オート）で撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

カメラの電源をオンにする

1 **ON/OFF**（電源）ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。

☛ **チェック：顔キレイナビについて**

このカメラでは、ご購入後初めて電源をオンにすると、人物の撮影に適した顔キレイナビ機能がすぐに使えるようになっています。顔キレイナビ機能については 25 ページをご覧ください。

2 バッテリー残量を確認します。

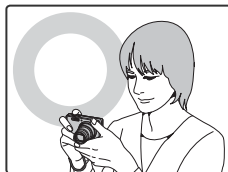
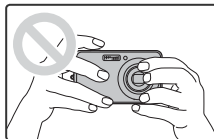
バッテリー残量を液晶モニターで確認します。

バッテリー残量

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は充分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

カメラを構えて、構図を決める

1 カメラを構えます。

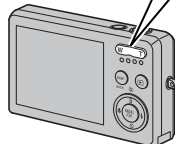
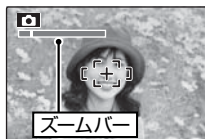
• 手ぶれを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

• レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

2 構図を決めます。

• 被写体の中心を液晶モニターの AF フレームに合わせ、構図を決めます。

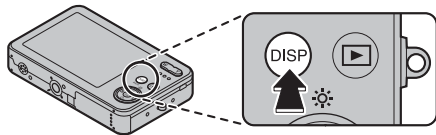
• このカメラは光学ズームを装備しています。ズームボタン(**W**/**T** ボタン)を押して、構図を調整します。

ズームを使うには

ズームを使うと、被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは **W** ボタンを、被写体を大きく写したいときは **T** ボタンを押してください。

セットアップメニューの**デジタルズーム**(→78 ページ)を使うと、被写体をさらに大きく撮影できます。

フレーミングガイドを使う

撮影時に **DISP/BACK** ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が次のように切り替わります。ベストフレーミングガイドを使うと、縦横にガイド線が表示され、構図を決めやすくなります。

注意

被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック (→ 27 ページ) を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、AF フレーム内の被写体にピントを合わせます。

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

!AF が液晶モニターに表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (→ 27 ページ)。

チェック

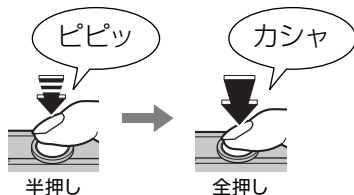
シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ぶれが起きないように、静かに押し込んでください。

チェック

暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（→ 30 ページ）。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

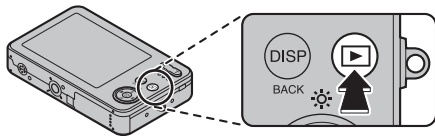
インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点灯	バッテリー充電中です（カメラの電源はオフです）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ動作の異常です。

メモ：警告

液晶モニターにも、警告表示が表示されます。詳細は90 ページを参照してください。

撮影した画像を見る

撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 ▶（再生）ボタンを押します。

最後に撮影した画像を右のように液晶モニターいっぱいに表示します。

2 ◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。

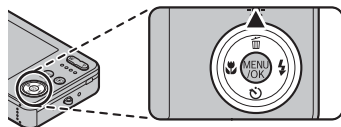
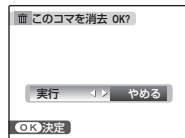
◀：前の画像が表示されます。

▶：次の画像が表示されます。

☛ チェック

シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑（消去）ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。**実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 削除するのをやめたい場合は、**やめる**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押してください。

メモ：消去

メニュー操作でも画像を消去できます（→ 43 ページ）。

顔キレイナビで撮影する

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

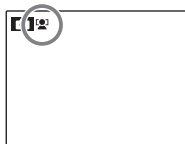
2 **顔キレイナビ**を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 顔キレイナビ設定を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

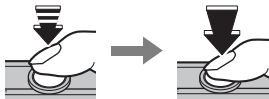
撮影画面が表示されます。

顔キレイナビを ON にすると、液晶モニターに が表示されます。

6 被写体に合わせて構図を決めます。

人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。

緑色の枠

カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

7 撮影します。

緑色の枠内の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。

注意

- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- 顔が検出されない場合（→ 85 ページ）は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピントが合います。
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビを使うと、一人旅などでセルフタイマーを使った自分撮りができます（→ 33 ページ）。

さらに、次のような機能も使えます。

- 赤目補正（→ 69 ページ）
- スライドショー（→70 ページ）

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントと明るさを固定することを「AF/AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントが合い、インジケーターランプが緑点灯します。

☛ **チェック**

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

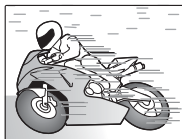
3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

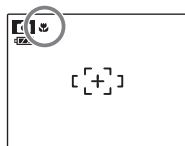
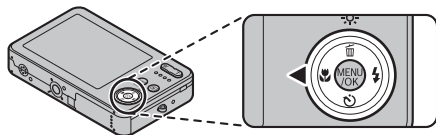
その他のオートフォーカスの苦手な被写体 :

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの (背景と同色の服を着ている人物など)
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前の被写体など)

このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください (→ 27 ページ)。

🌷 近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

1 🌷 (◀) ボタンを押してマクロに設定します。

マクロに設定すると、🌷 が表示されます。

2 構図を決めてピントを合わせます。

☛ **チェック**

ズームボタン（**W**/**T**）を使うと、構図を調整できます（→ 21ページ）。

3 撮影します。

マクロを解除するにはもう一度 🌷 (◀) ボタンを押します。カメラの電源をオフにしたときや撮影モードを切り換えたときも、マクロが解除されます。

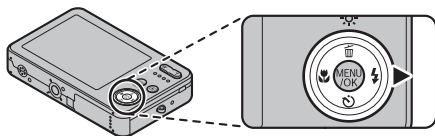
☛ **チェック**

- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

フラッシュ撮影する

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュ設定を選びます。

（▶）ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

フラッシュ設定	説明
AUTO（オートフラッシュ、表示なし）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
（赤目軽減フラッシュ）	暗い場所で人物を撮影するのに適しています。ひとみが赤く写る赤目現象を軽減します。
（強制発光フラッシュ）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
（フラッシュ発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
S（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。撮影モードで を選ぶと、シャッタースピードがスローシャッターになります。必ず三脚をご使用ください。 では、同時に赤目を軽減できます。
（赤目軽減＋スローシンクロ）	

各撮影モードで使用できるフラッシュの設定については 104 ページをご覧ください。

2 構図を決めてピントを合わせます。

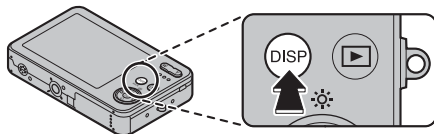
チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに が表示されます。フラッシュを 以外にするか、三脚をご使用ください。

3 撮影します。

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

マナーモード

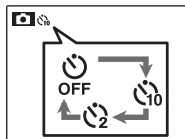
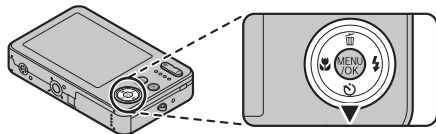
フラッシュ光やシャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、**DISP/BACK** ボタンを長押しして設定します。

マナーモードに設定すると、フラッシュが発光禁止になり、操作音やシャッター音、動画やボイスメモの再生音がOFF になります。セルフタイマーランプやイルミネーションも発光しません。

- マナーモードに設定すると、液晶モニターに が表示されます。
- もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しすると、マナーモードが解除されます。
- フラッシュ設定や音量（→78 ページ）を変更したいときは、まずマナーモードを解除してください。

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。

1 セルフタイマーを設定します。

（▼）ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

：10 秒後撮影と
：2 秒後撮影から
選択してください。

2 構図を決めてピントを合わせます。

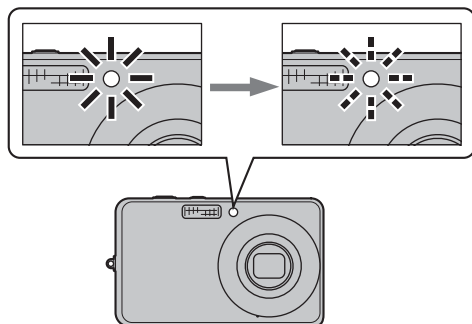
3 セルフタイマーを開始します。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーがスタートします。液晶モニターには、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

注意

シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

「10 秒後撮影」では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。「2秒後撮影」では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

カウントダウン終了後、すぐに動かないでください。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影する

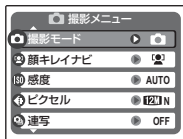
セルフタイマー撮影時に顔キレイナビを使うと、事前にピントを合わせなくても、カメラが自動的に人物の顔を検出してピントを合わせます。撮影者を含めた集合写真や自分撮り (セルフポートレート) のときに便利です。

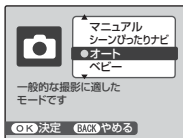
顔キレイナビでセルフタイマー撮影するには、撮影メニューで顔キレイナビをONに設定します(→25 ページ)。シャッターボタンを全押しすると、撮影までの間に顔を検出し、シャッターがきれる直前にピントと明るさを合わせます。

シーンに適したモードで撮影する

この撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 **撮影モード**を選びます。

3 撮影モードの選択画面が表示されます。

4 撮影モードを選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影モードが設定されます。

チェック
各撮影モードで使用できるフラッシュ設定については、104ページをご覧ください。

いろいろな撮影

撮影モードの種類

M マニュアル

露出補正(→66ページ)、**ホワイトバランス**(→67ページ)などの撮影機能を、撮影者が自由に設定できます。

SR AUTO シーンぴったりナビ

被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします。
カメラが最適なシーンを認識すると、画面左下にシーンアイコンが表示されます。

人物を認識した場合

内容	シーン	特色
人物		肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。
風景		建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。
夜景		高感度で手ブレを抑え、夜景がきれいに撮れます。
マクロ		近接撮影され、近くの被写体がくっきり撮れます。
逆光＆人物		逆光でも人物は明るく、背景は白飛びを防ぎます。
夜景＆人物		暗いところでも人物と背景の明るさを最適にし、ブレも軽減します。

メモ

シーンを認識しなかった場合は、**AUTO**で撮影されます。

チェック

- 顔キレイナビが常にONになります。
- 常に顔または画面中央付近にピントを合わせ続けます。
- 常にピント合わせを続けるため、次のような現象が起こります。また、バッテリー残量にご注意ください。
  - レンズの駆動音がします。
  - バッテリーの消耗が早くなります。
- ではピントが合う範囲は マクロになります。

AUTO（オート）

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。操作の流れについては、「（オート）で撮影する」（→ 20 ページ）をご覧ください。

ベビー

赤ちゃんの肌を自然に撮影することができます。フラッシュは常に発光禁止になります。

ブレ軽減

子供やペットなど、動きの速い被写体の撮影に適しています。
シャッタースピードを速くすることで、手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できます。

人物

人物の撮影に適しています。肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。

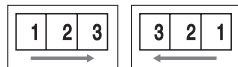
▲ 風景

昼間の風景撮影に適しています。建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。

パノラマ

3 コマまでの画像を合成して、パノラマ画像にすることができます。重なり合う部分がずれないよう三脚のご使用をおすすめします。

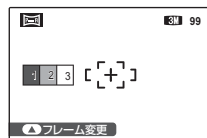
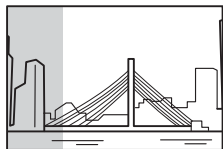
1 撮影メニューで **パノラマ**を選びます。

2 撮影する方向を ▲◀▶ で選択し、**MENU/OK** で決定します。

3 撮影します。

パノラマ画像の露出とホワイトバランスは 1 コマ目の撮影で設定されます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

1 コマ目の端の部分が半透明で表示されます。

いろいろな撮影

5 半透明で表示された部分に重なるように次のコマの構図を決めます。

6 ステップ３と４を繰り返し、２コマ目を撮影し記録します。

２コマでパノラマ画像に合成するには、ここで ▲ ボタンを押します。

7 ステップ５の要領で構図を決め、３コマ目を撮影します。

8 **MENU/OK** ボタンを押すとパノラマで表示されます。

9 **MENU/OK** ボタンを押して、パノラマ画像を保存します。

個々の画像は保存されません。

スポーツ

動いている被写体の撮影に適しています。シャッタースピードは高速になります。

夜景

夕景や夜景の撮影に適しています。自動で高感度になるため、手持ち撮影で発生しやすい手ブレを軽減します。

夜景（三脚）

夜景の撮影に適しています。スローシャッターでの撮影が行われます。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

ナチュラルフォト

暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真になります。室内やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

フラッシュは常に発光禁止になりますが、自動的に高感度になるため、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減します。

ビーチ
日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

スノー
白く輝く雪景色で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

花火
スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

メモ：露光時間の設定
◀ または ▶ を押すと、シャッタースピードを設定できます。

夕焼け
夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。

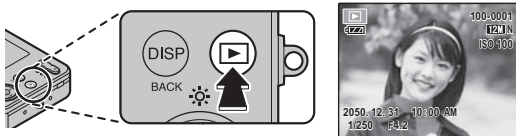
花の接写
花に近づいて撮影するときに使用します。花びらの色を鮮やかに撮影できます。
ピントが合う範囲は マクロになり、フラッシュは常に発光禁止になります。

パーティー
室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を活かした自然な写真になります。

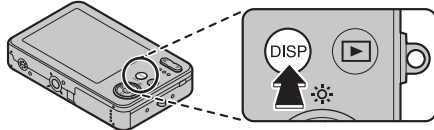
TEXT 文字の撮影
書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。文字をはっきりと撮影します。
ピントが合う範囲は マクロになります。

いろいろな再生

1 コマ再生する

▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

- 1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

液晶モニターの表示切り換え

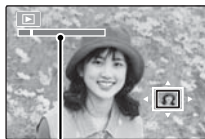
DISP/BACK ボタンを押すごとに、再生表示モードが切り替わります。

☛ チェック

他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁 (プレゼントアイコン) が表示されます。

再生ズーム

1 コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

W(広角ズーム) ボタンを押すと縮小します。

T(望遠ズーム) ボタンを押すと拡大します。

ズームバー

画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

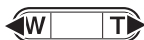
再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

☛ チェック

- 最大ズーム倍率は、設定した**ピクセル**(→ 65 ページ) によって変わります。
- **ピクセル**が 03M の画像の場合、再生ズームは使えません。

マルチ再生する

2 コマ、9 コマ、100 コマの一覧表示にして、画像を比較したり、見たい画像を選ぶことができます。

W を押すたびに表示される画像の数が 2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の順に増え、**T** を押すたびに減ります。

W ボタンを押すたびに表示される画像が増えます。

T ボタンを押すたびに表示される画像が減ります。

- ▲、▼、◀ または ▶ を押して画像を選びます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- 9 コマの一覧表示または 100 コマの一覧表示（マイクロサムネイル）では、▲ または ▼ を押してページを切り換えられます。

日付ごとに再生する

1 日付再生画面を表示します。

1コマ再生画面で、下のような画面が表示されるまで、**DISP/BACK** ボタンを繰り返し押します。

1コマ再生画面での表示画像が選択されます。

2 ▲ または ▼ を押して、日付を選びます。

3 ◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。

メモ：早送り

- ▲ または ▼ 長押しで、早送りで日付が変わります。
- ◀ または ▶ 長押しで、同日日付内で画像の早送りができます。

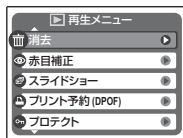
いろいろな再生

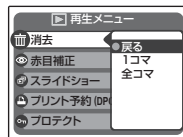
🗑 画像を消去する

再生メニューでは、画像を1コマだけ消去したり、内蔵メモリー / メモリーカード内の画像をすべて消去することができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**1コマ再生画面での画像の消去については、24ページを参照してください。

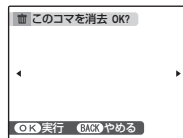
再生メニューで1コマ消去する

再生メニューを使って画像を消去するには、次の操作を行います。

1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

2 🗑 **消去**を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 **1コマ**を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押すと、1コマ削除画面が表示されます。

いろいろな再生

6 消去する画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、表示中のコマが消去されます。

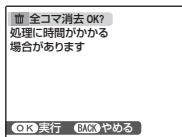
MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されます。誤って消去しないように、ご注意ください。

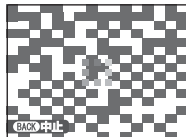
手順 6 を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を完了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

すべてのコマを消去する

1 前ページの手順 4 で**全コマ**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ削除画面が表示されます。

全コマ消去 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行　BACK やめる

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

注意

DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

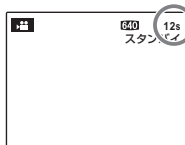
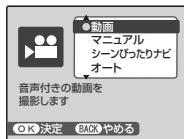
メモ : 画像の消去

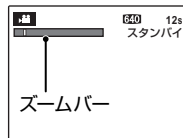
- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像が消去されます。メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像が消去されます。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (→71 ページ)。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

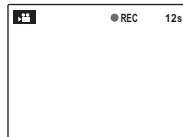
動画を撮影する

音声付きの Motion JPEG 形式の動画を撮影できます
(→ 94 ページ)。

1 撮影メニューの**撮影モード**で **動画**を選びます。

撮影モードの設定方法は、34 ページを参照してください。

液晶モニターに撮影可能時間が表示されます。

2 ズームボタンを押して、ズーム操作をします。

3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

撮影中は、**REC** の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

4 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

チェック

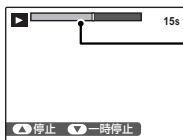
- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 動画撮影中、カメラの動作音が記録されることがあります。

注意

音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。

動画のピクセル（サイズ）を変更するには

動画の撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**ピクセル**を選びます。640（640 × 480 ピクセル、画質重視）または 320（320 × 240 ピクセル、記録時間重視）から選択できます。

▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択し、▼ を押すと動画を再生します。

注意

- スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

動画再生時の操作方法について

機能	操作	説明
再生 / 一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると停止します。再生中にもう一度 ▼ を押すと、一時停止します。
停止	▲	再生を終了します。
巻き戻し / 早送り	◀ ▶	再生中に ◀ または ▶ を押し続けると巻き戻し / 早送りします。
コマ送り	◀ ▶	一時停止中に ◀ または ▶ を押すとコマ送りします。
動画の削除	▲	停止中に 🗑 を押すと、現在表示中の動画を消去できます。
再生音量の調節	MENU/OK + ▲ ▼	再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。 • 動画の再生音量は、セットアップメニュー（→78 ページ）でも設定できます。

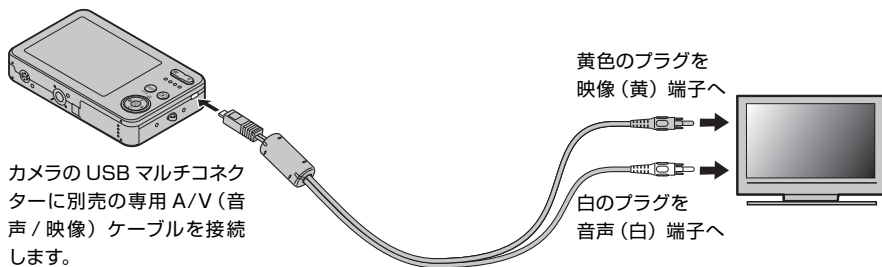
動画の撮影と再生

画像をテレビで見る

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真を大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 別売の専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルでカメラとテレビを接続します。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 ▶（再生）ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。

カメラの液晶モニターが消え、画像や動画がテレビで再生されます。

チェック

- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質が低下します。

注意

別売の専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア FinePixViewer（Windows の場合は FinePixViewer S）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。また、インターネットに接続できる環境があれば、デジカメプリントを注文する（Windows のみ）こともできます。カメラとパソコンを接続する前に、FinePixViewer をパソコンにインストールしてください。最新の FinePixViewer は、http://fujifilm.jp/ からダウンロードできます。インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

Windows に FinePixViewer S をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	推奨環境	
OS	Windows Vista、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional（SP2）、Windows 2000 Professional（SP4）*（すべてプリインストールされたモデルのみ。）	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium 200MHz 以上（Windows Vista/XP の場合は、Pentium 4/800MHz 以上）	Pentium4/ 3GHz 相当以上	Pentium4/ 2GHz 相当以上
メモリ	128MB 以上(Windows Vista/XP の場合は 512MB 以上)	1GB 以上	512MB 以上
ハードディスク空き容量	**インストールに必要な容量**：450MB 以上 **動作に必要な容量**：600MB 以上	15GB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上	1024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨します。その他の USB ポートは動作保証外です。 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要です。		

* Windows® 7 への対応情報は、http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html をご覧ください。

チェック

FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

注意

49 ページに記載されている以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**許可**をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 **マイコンピュータ**を開きます。
- Windows Vista/XP：スタートメニューから**コンピュータ**（Windows XP では、**マイコンピュータ**）をクリックします。
- Windows 2000 Professional：デスクトップの**マイコンピュータ**アイコンをダブルクリックします。

2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。

3 **SETUP** または **SETUP.exe** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX がCD-ROMの中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出し、**再起動**ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（→ 55 ページ）に進んでください。

☛ **チェック**

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows パソコンから FinePixViewer S をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1. コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP/2000）で FinePixViewer S を削除してください。
2. 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Mac OS X に FinePixViewer をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel Processor
OS	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.5*）（すべてプリインストールされたモデルのみ。）
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨します。その他の USB ポートは動作保証外です。 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要です。

* 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、**FinePix** アイコンが表示されます。**FinePix** アイコンをダブルクリックし、続いて **Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示に従って、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

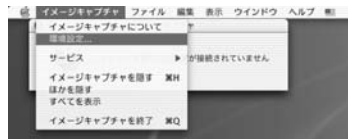
6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

注意

Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク “FinePix” は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

FinePixViewer の自動起動について

カメラを接続したとき、FinePixViewer を自動起動させるには、

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ (Image Capture)** を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。

3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、55 ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

チェック

- CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。
- FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

Macintosh パソコンから FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewerフォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

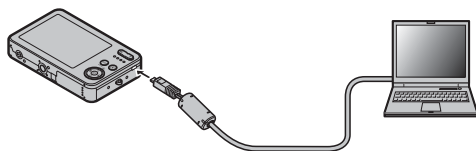
2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows パソコンをお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 FinePixViewer をインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

☛ **チェック**

USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 ▶ ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

FinePixViewer が自動的に起動するので、画面の指示に従って画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が終了すると、カメラ / メディアの取り外し画面が表示されます。画面の指示に従い、カメラの電源をオフにしてからカメラとパソコンの接続を外してください。

注意

- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、FinePixViewer の起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。

- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
  - メモリーカードを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- FinePixViewer が自動起動しないときは、ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- FinePixViewer でネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

FinePixViewer の使い方、トラブルシューティング、オンライン Q&A については、FinePixViewer のヘルプを参照してください。

Fotonoma（フォトノマ）について

パソコンにインストールした FinePixViewer を起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録すると、製品サポートだけではなく、FUJIFILM の写真関連ポータルサイト「Fotonoma」（http://fotonoma.jp）への登録もできます。

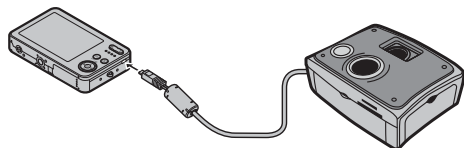
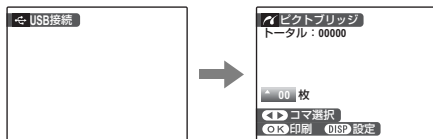
ユーザー登録方法や Fotonoma についての詳しい情報は、付属の「Fotonoma ご案内ガイド」をご覧ください。

画像をプリントする

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

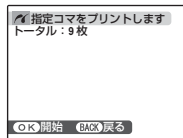
1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

2 ▶ ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。液晶モニターに ⇔ が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。

最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。プリント設定が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

☛ **チェック**

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押したときは、表示中の画像が1枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

メモ：日付を入れてプリントする

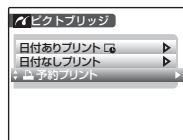
撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントするには、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

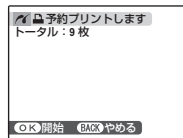
プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF）（→ 61 ページ）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1 **DISP/BACK** ボタンを押して、ピクトブリッジの設定画面を表示します。

2 **予約プリント**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

画像をプリントする

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

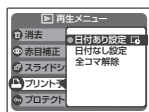
プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

☛ チェック

- 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、プリンター側で設定した用紙サイズと印字品質でプリントされます。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約(DPOF)**(→ 61 ページ）であらかじめ DPOF 指定した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス（FDI サービス）取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約（DPOF）**→ 61 ページ）。

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。
詳細は、http://fujicolorprint.jp/ をご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、49 ページをご覧ください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの**画像コピー**（→ 72 ページ）でメモリーカードに画像をコピーしてから**プリント予約（DPOF）**で DPOF 指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（→ 19 ページ）。

プリントする画像を指定する（⎙ プリント予約（DPOF））

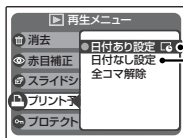
再生メニューの ⎙ **プリント予約 (DPOF)** であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（→ 57 ページ）、フジカラーデジカメプリントサービス（FDI サービス）取扱店でお店プリントするとき（→ 60 ページ）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付の印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

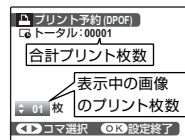
1 再生メニューで**プリント予約 (DPOF)** を選びます（→ 68 ページ）。

2 **日付あり設定**または**日付なし設定**を選びます。

日付あり設定：撮影日を印字します。

日付なし設定：撮影日を印字しません。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

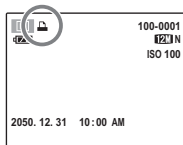
4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます（最大 99 枚）。

• DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。

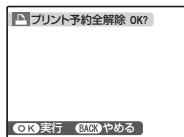
6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

- 設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

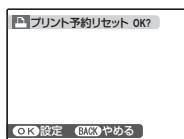
7 合計枚数が表示されますので、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に 🖶 が表示されます。

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、右のような確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

☛ チェック

- 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右図のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

画像をプリントする

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2 変更する項目を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

☛ チェック
撮影メニューで設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

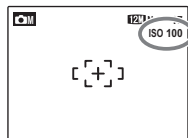
メニュー項目	機能	設定		工場出荷時
撮影モード	撮影目的や状況（シーン）に適した撮影モードを設定できます（→ 34 ページ）。			
顔キレイナビ	カメラが人物の顔を検出し、人物を明るく目立つように撮影できます（→ 25 ページ）。	ON/OFF		ON
感度	光に対する感度を変更できます（→ 65 ページ）。設定値が大きいほど高感度になり、暗いところでも撮影できます。	AUTO/3200/1600/800/400/200/100		AUTO
ピクセル	撮影する画像の大きさを変更できます（→ 65 ページ）。	FinePix J27	10M F/10M N/9M 3:2/5M/3M/2M/03M	10M N
		FinePix J30	12M F/12M N/11M 3:2/6M/3M/2M/03M	12M N
露出補正	画像の明るさを調整できます（→ 66 ページ）。	－2EV ～ +2EV（約 ⅓EV ステップ）		± 0
ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます（→ 67 ページ）。	AUTO/ / / / / /		AUTO
連写	連続撮影ができます（→ 67 ページ）。	連写 /OFF		OFF
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます（→75 ページ）。	/1/2/3		—

メニューを使いこなす

感度を変更する（ISO 感度）

M で光に対する感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。**AUTO** に設定すると、被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。

チェック

- M で **AUTO** 以外の感度に設定すると、液晶モニターに感度の設定値が表示されます。

- **感度**は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

記録する画像の大きさを変える（ピクセル）

記録する画像の大きさを変更できます。サイズ（ピクセル）が大きいほど画質が良くなり、小さいほどより多くの枚数を記録することができます。

設 定	用途例
12M **F**、10M **F**、 12M **N**、10M **N**	四切(254mm×305mm)、六切(203mm×254mm)、A4 サイズ程度でプリントする場合に適しています。画質を優先する場合は 12M **F**/10M **F** を選んでください。11M **3:2**/9M **3:2** は縦横比 3：2 です。
11M **3:2**、 9M **3:2**	
6M、5M	
3M	2L（127mm × 178mm)、A5 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
2M	L（89mm × 127mm） サイズ、ハガキ、A6 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
03M	電子メールへの画像添付やホームページ掲載に適しています。

現在の設定で撮影可能な枚数（→ 96 ページ）が、液晶モニターのピクセルアイコンの右側に表示されます。

お使いのカメラで記録できるピクセルについては、撮影メニュー一覧をご覧ください（→ 64 ページ）。

チェック

ピクセルは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

縦横比とピクセルについて

静止画の大きさ（ピクセル）を 11M 3:2/9M 3:2 に設定すると、静止画の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3：2 になります。**ピクセル**を 11M 3:2/9M 3:2 以外に設定すると、縦横比は 4：3 になります。

4:3

3:2

画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影**：+2/3EV ～ +1 2/3EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所**：+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合**：+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合**：－ 2/3EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合**：－ 2/3EV

チェック

露出補正を± 0 以外に設定すると、液晶モニターに が表示されます。設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、± 0 に設定してください。

色合いを調節する（WB ホワイトバランス）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます（「ホワイトバランス」とは→ 95 ページ）。

設 定	説 明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。
☀	晴天の屋外での撮影用です。
⛅	曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。

人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源に合ったホワイトバランスをお使いください。

☛ **チェック**

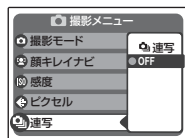
撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

連続撮影する（連写）

連写にすると、シャッターボタンを押している間、最大 3 コマ連続して撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

☛ **チェック**

- 連写速度は、シャッタースピードによって異なります。
- ピントと明るさは 1 コマ目を撮影したときに決定します。
- 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。
- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影後、液晶モニターに撮影結果が表示されます。

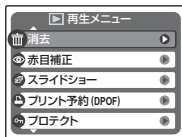
メニューを使いこなす

再生の設定を変える — 再生メニュー

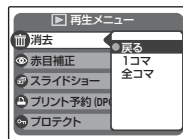
画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押して再生モードに切り換えます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

▶ 再生メニュー
消去
赤目補正
スライドショー
プリント予約 (DPOF)
プロテクト

3 変更する項目を選びます。

4 設定の変更に移ります。

5 設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

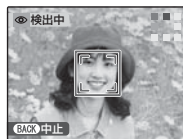
再生メニュー一覧

メニュー項目	機能
消去	画像を１コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます (→ 43 ページ)。
赤目補正	顔キレイナビで撮影した画像の赤目を補正します (→ 69 ページ)。
スライドショー	画像を順番に自動再生します (→70 ページ)。
プリント予約 (DPOF)	DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します (→ 61 ページ)。
プロテクト	誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトします (→71 ページ)。
画像コピー	内蔵メモリーとメモリーカード間で、画像をコピーします (→72 ページ)。
画像回転	画像を回転させます (→73 ページ)。
トリミング	必要な部分を切り抜いた画像のコピーを作ります (→74 ページ)。
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます(→ 75 ページ)。

赤目画像を補正する（赤目補正）

顔キレイナビ (→ 25 ページ) で撮影した画像 (が表示されている画像）の赤目を補正できます。画像の再生時に赤目を補正したい画像を選んでから、再生メニューで **赤目補正**を選んでください。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目を補正します。

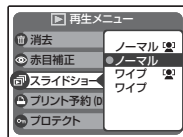
赤目検出してから、検出した赤目を補正します。

2 赤目補正が完了すると、赤目補正した画像を別ファイルとして保存します。

メニューを使いこなす

☛ **チェック**
- 顔が検出できないときや横顔の場合、赤目補正されません。また、被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像（🎁 が表示されている画像）は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（👁 が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

連続して再生する（スライドショー）

撮影した画像を順番に自動再生します。

- スライドショーの種類を指定して **MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーが開始します。
- 途中でスライドショーを中止するには、**MENU/OK** ボタンを押します。

メニュー項目	機 能
ノーマル **ワイプ**	◀ または ▶ でコマ送りができます。**ワイプ**を選択すると、画像が左上から右下へワイプアウトしながら切り替わります。
ノーマル 👤 **ワイプ** 👤	◀ または ▶ でコマ送りができます。顔キレイナビ（→ 25 ページ）で撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。

メモ : ガイダンス

DISP/BACK ボタンを押すと、液晶モニターにガイダンスが表示されます。

☛ **チェック**
- 動画は自動的に再生が始まり、終わると次の画像に進みます。
- スライドショー中は、自動電源 OFF しません。

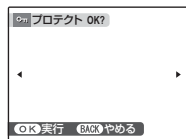
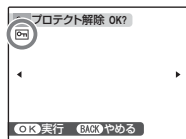
メニューを使いこなす

画像を保護する（⊶ プロテクト）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

■ 設定 / 解除

選んだ画像にプロテクトをかけたり解除したりします。

1 プロテクトする画像を選びます。

プロテクトされていない画像　　プロテクトされている画像

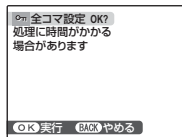
2 **MENU/OK** ボタンを押して、画像にプロテクトを設定します。

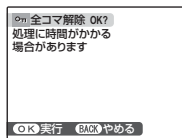
もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プロテクトを解除します。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像にもプロテクト設定します。

設定を終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマ設定

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像がプロテクトされます。

■ 全コマ解除

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像のプロテクト設定を解除します。

画像の数が多いと、**全コマ設定**や**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押してください。

注意

メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（→79 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

画像をコピーする（COPY 画像コピー）

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーすることができます。

1 **IN カメラ ➡ SD カード**または**SD カード ➡ IN カメラ**を選びます。

2 設定の変更に移ります。

3 **1コマ**または**全コマ**を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

■ 1コマコピーする（1コマ）

選択した画像をコピーします。

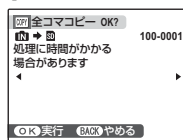
1 コピーする画像を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、表示中の画像をコピーします。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像もコピーします。

コピーを終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマをコピーする（全コマ）

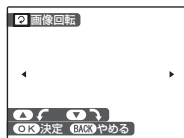
すべてのコマをコピーするには、**MENU/OK** ボタンを押します。コピーを中止して終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

注意

- コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。
- **プリント予約（DPOF）**（→ 61 ページ）していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

メモ：メモリーカード間の画像のコピー

まず、**画像コピー**でメモリーカードから内蔵メモリーに画像をコピーします。その後、メモリーカードを交換して、内蔵メモリーの画像を新しいメモリーカードにコピーします。

画像を回転する（⊘ 画像回転）

縦位置で撮った画像を、液晶モニターに縦位置で表示できるように回転させます。画像の再生時に回転したい画像を選んでから、再生メニューで ⊘ **画像回転** を選んでください。

1 画像を回転させます。

▼ を押すと画像は時計回りに 90° 回転します。▲ を押すと反時計回りに 90° 回転します。

2 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

回転を取り消すには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

次回同じ画像を再生させると、自動的に回転して表示されます。

☛ チェック

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転させてください (→71 ページ)。
- 他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分をトリミングする（切り抜く）ことができます。画像の再生時にトリミングしたい画像を選んでから、再生メニューでトリミングを選んでください。

1 画像を切り抜きたい大きさに拡大します。

2 切り抜きたい部分に移動します。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

トリミングを中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

トリミング後の記録画素数が液晶モニターに表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミングした画像を別ファイルとして保存します。

チェック

- 手順1での拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。記録画素数が 03M のときは、**OK 実行**が黄色で表示されます。元画像の**ピクセル**が 11M **3:2**/ 9M **3:2** のときも、トリミングした画像の縦横比は、4：3 になります。
- 他のカメラで撮影した画像はトリミングできません。

メニューを使いこなす

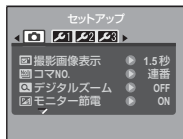
カメラの設定を変える — セットアップメニュー

カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ⓢ **セットアップ**を選びます。

▶ を押して、セットアップ画面を表示します。

3 ページを選びます。

4 項目の選択に移動します。

5 変更する項目を選びます。

6 設定の変更に移ります。

7 設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

セットアップメニュー一覧

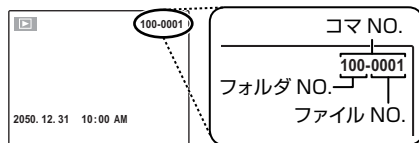
	メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
撮影	撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。(→77 ページ)。	3 秒 / 1.5 秒 / OFF	1.5 秒
	コマ NO.	コマ番号の付けかたを設定します (→77 ページ)。	**連番 / 新規**	**連番**
	デジタルズーム	デジタルズームを使用するかどうかを設定します (→78 ページ)。	ON / OFF	OFF
	モニター節電	カメラを操作していないときに自動的に液晶モニターの明るさを暗くします (→78 ページ)。	ON / OFF	ON
1	日時設定	日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「使用する言語と日時を設定する」の手順3以降をご覧ください (→ 19 ページ)。	—	—
	操作音量	ボタンなどを操作したときの音量を設定します。	大/中/小/OFF	中
	シャッター音量	シャッターを切るときの音量を設定します。	大/中/小/OFF	中
	再生音量	動画再生時の音量を設定します (→78 ページ)。	—	7
	モニター明るさ	液晶モニターの明るさを設定します (→78 ページ)。	—	0
2	フォーマット	内蔵メモリーまたはメモリーカードを初期化します (→79 ページ)。	—	—
	言語 /LANG.	液晶モニターに表示する言語を設定します。	日本語 / ENGLISH	日本語
	自動電源 OFF	何も操作していないときに、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します (→79 ページ)。	5 分 /2 分 / OFF	2 分
	世界時計	時差を設定します (→ 80 ページ)。	自宅 / 旅行先	自宅
	ビデオ出力	ビデオ出力を **NTSC** にするか **PAL** にするかを設定します。日本国内で使用するときは、**NTSC** を選んでください。	NTSC / PAL	NTSC
3	リセット	コマ NO.、**日時設定**、**世界時計**、**ビデオ出力**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。▶ を押すと確認画面が表示されます。リセットするには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。	—	—

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

メニュー項目	機 能
3秒	撮影直後、画像が約 3 秒または 1.5 秒間表示され、その後記録されます。表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
1.5 秒	
OFF	撮影直後に画像は表示されません。

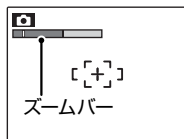
コマ NO.

コマ NO. の付け方を設定します。コマ NO. とは、画像ファイル名に付けられた番号（フォルダ NO. +ファイル NO.）のことです。画像の再生中は、次の図のように、コマ NO. が表示されます。

メニュー項目	機 能
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。**連番**に設定すると、ファイル名の重複を防ぐことができます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。

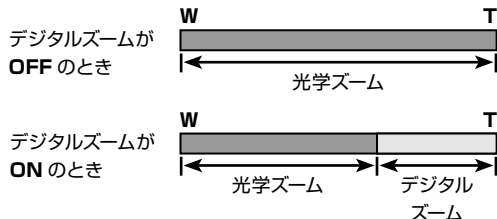
チェック

- **リセット**（→ 76 ページ）を行っても、コマ NO. はリセットされません。
- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（→ 91 ページ）。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

デジタルズーム

ON にすると、光学ズームの望遠端（最大倍率）で **T** ボタンを押すことにより、デジタルズームを使用できます。デジタルズームを解除するには、光学ズーム域に入るまで、**W** ボタンを押します。

注意

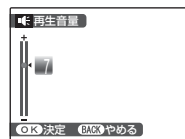
デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

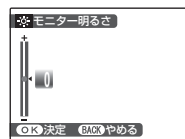
■ ズームバー表示

モニター節電

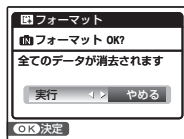
ON にすると、数秒間何も操作しないときに、自動的に液晶モニターが暗くなります。消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。シャッターボタンを半押しすると再び明るくなります。

再生時や、動画の撮影時には液晶モニターは暗くなりません。

再生音量

動画の再生音量を設定できます。▲または▼を押して音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

モニター明るさ

▲または▼を押して液晶モニターの明るさを選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマットします。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。フォーマットを行うには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

注意

- フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。誤ってフォーマットすると元には戻せません。消去したくない画像は、パソコンにコピーしてください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

自動電源 OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2 分間または 5 分間）カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。**OFF** を選ぶと、電源は自動的にオフにはなりません。バッテリーを長持ちさせたいときは、**自動電源 OFF** を **OFF** 以外に設定してください。**自動電源 OFF** の設定にかかわらず、プリンターやパソコンと接続しているときやスライドショーの再生中は電源はオフにはなりません。

メモ：再び電源をオンにするには

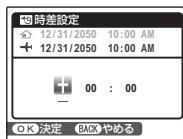
撮影するときは、**ON/OFF**（電源）ボタンを押します。再生するときは、▶ ボタンを約1秒押し続けます（→ 18 ページ）。

メニューを使いこなす

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

1 ✈ **現地**を選びます。

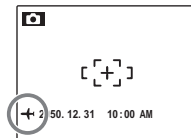
2 時差設定に移ります。

3 時差を設定します。

◀ または ▶ で項目(「+」「−」、時間、分)を選び、▲ または ▼ を押して、設定を変更します。時差は 15 分単位で設定できます。

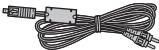
4 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

5 現地時間とホームの時間を切り換えます。

カメラの時計をお住まいの地域の時間に戻すには、世界時計画面で ⌂ **ホーム**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。現地時間にするには、✈ **現地**を選びます。

✈ **現地**を選ぶと、メニューから撮影画面に戻るたびに、液晶モニターに ✈ と日付が約 3 秒間黄色で表示されます。

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず ⌂ **ホーム**に戻して、日時を再確認してください。

メニューを使いこなす

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

DIGITAL CAMERA
FINEPIX J27
FINEPIX J30

テレビで見る

専用A/Vケーブル（別売）で接続

モニターテレビ（市販品）

パソコンに接続して画像を保存する

USBケーブル（付属品）で接続

パーソナルコンピューター（市販品）

SDカードスロットまたはカードリーダーで接続

プリントする

USBケーブル（付属品）で接続

PictBridge

ピクトブリッジ対応プリンター（市販品）

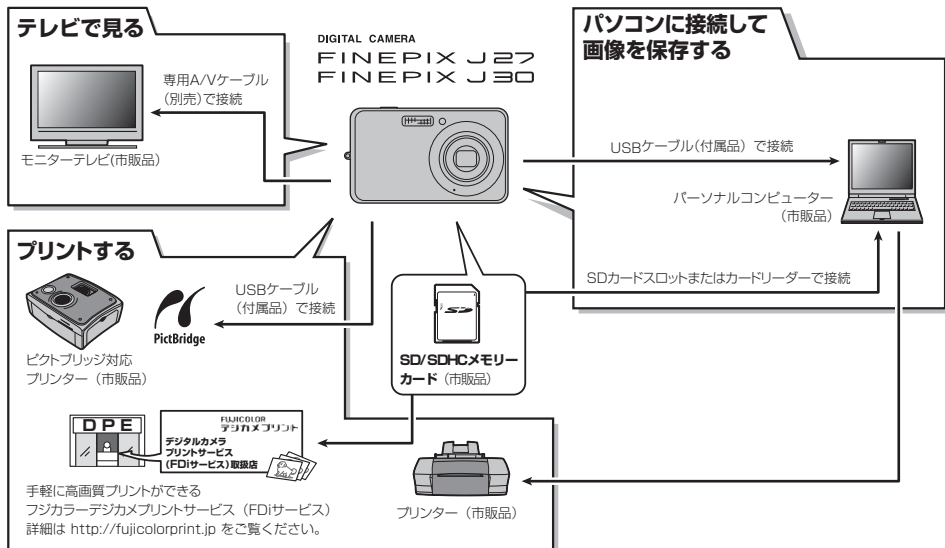
SD/SDHCメモリーカード（市販品）

DPE

FUJICOLOR デジカメプリント
デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取扱店

手軽に高画質プリントができる
フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）
詳細は http://fujicolorprint.jp をご覧ください。

プリンター（市販品）

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-45：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
専用 A/V（音声／映像）ケーブル AV-C1：カメラとテレビを接続できます。	

※ 最新情報については、富士フイルムホームページ（http://fujifilm.jp/）をご覧ください。

困ったときは

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症状		ここをチェック!	処置	ページ
バッテリー、電源について	ON/OFF(電源)ボタンを押しても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか?	充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	12、13
		バッテリーを正しい向きで入れていますか?	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	12
	バッテリーの減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか?	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
		バッテリーの端子が汚れていませんか?	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		撮影モードが SR AUTO に設定されていませんか?	撮影モードが SR AUTO に設定されていると、バッテリーの消耗が早くなります。	35
		同じバッテリーを長期間使っていませんか?	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか?	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	12、13
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか?	バッテリーを入れてください。	12
		バッテリーは正しい向きで入っていますか?	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	12
		バッテリーの端子が汚れていませんか?	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	—
	充電に時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか?	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック!	処 置	ページ
メニューが英語で表示されています。	セットアップメニューの 言語/LANG. が ENGLISH になっていませんか?	言語設定を**日本語**にしてください。	75、76

■ 撮影時

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか?	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	15、43
		メモリーカードはこのカメラでフォーマットされていますか?	カメラでフォーマットしてください。	79
		メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか?	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	15
		バッテリー残量が少なくなっていませんか?	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	12、13
		電源がオフになっていませんか?	電源をオンにしてください。	18
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか?	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	30
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか?	マクロを設定してください。	29
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか?	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体(→ 28 ページ)を撮影しようとしていませんか?	AF/AE ロック撮影してください。	27

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）を設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	34
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	25
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	21
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	27
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロ（近距離撮影）を設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	34

症状		ここをチェック！	処置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？	フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	23
		フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	34
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	12、13
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	67
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	31
		フラッシュの設定が（発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを 以外に設定してください。	30
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュ設定を選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	34
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	31
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	98
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	21
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	21
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	22、27
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	31
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—

■ 再生時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像ではありませんか？	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像は、再生ズームができません。	40
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画の再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	78
		撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影時はマイクをふさがないでください。	10、46
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	10、47
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	71
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源をオフにしないでバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源がオンのままバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	77

■ 接続時

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック!</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">テレビとの接続について</td><td rowspan="5">テレビに画像、音声が出ません</td><td>カメラとテレビが正しく接続できていますか?</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>48</td></tr>
<tr><td>動画再生中に専用 A/V(音声 / 映像)ケーブルを接続しませんでしたか?</td><td>動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。</td><td>47、48</td></tr>
<tr><td>テレビの入力が「テレビ」になっていませんか?</td><td>テレビの入力を「ビデオ」にしてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>セットアップメニューのビデオ出力が PAL になっていませんか?</td><td>日本国内で使用する場合は NTSC にしてください。</td><td>76</td></tr>
<tr><td>テレビの音量が小さくなっていませんか?</td><td>テレビの音量を調節してください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>テレビの画像が黒白になってしまいました。</td><td>セットアップメニューのビデオ出力が PAL になっていませんか?</td><td>日本国内で使用する場合は NTSC にしてください。</td><td>76</td></tr>
<tr><td>パソコンとの接続について</td><td>パソコンがカメラを認識しません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか?</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>55</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プリンターとの接続について</td><td rowspan="2">接続したのにプリントできません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか?</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>57</td></tr>
<tr><td>プリンターの電源は入っていますか?</td><td>プリンターの電源を入れてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>1 枚ずつしかプリントされません。</td><td rowspan="2">PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか?</td><td rowspan="2">プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を1枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>日時が印字されません。</td></tr>
</table>

■ その他

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	12
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	12、13
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	12、107
音について	音が出ません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	31

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
(赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
(赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (→ 27 ページ)。 • 暗い場合は被写体から 2m 程度離れて撮影してください。 • 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
!AE (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。
フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障しています。	• レンズ部に触れずに、電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも警告表示が消えない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
ズームエラー		
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの**画像コピー**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (→79 ページ)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (→79 ページ)。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→79 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→79 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	メモリーカードが壊れています。	
SD 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
IN 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (→79 ページ)。
	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン / オフを繰り返してください。それでも警告表示が消えない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください (→16 ページ)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→79 ページ）。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ NO.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ NO. が「100-0001」から付けられます。**コマ NO.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカード の接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→79 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	5000 枚以上の画像を日付再生しようとしました。	5000 枚以上の画像は日付再生できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→71 ページ）。
SD 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
IN 画像がありません		
03M トリミングできません	0.3M の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	—
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	—
実行できません 実行できません	赤目補正できない画像、または動画を赤目補正しようとしました。	—

警告表示	警告内容	処 置
DISP を長押しして マナーモードを 解除してください	マナーモード中にフラッシュや音量を設定しようとしました。	マナーモード時は、フラッシュや音量は設定できません。フラッシュや音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか?	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後も警告表示が消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか? このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできないコマです	他のカメラで撮影した画像（🎁）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか? このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

資料集

用語の解説

DPOF（ディーポフ）: Digital Print Order Format の略。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたいコマや枚数などの「プリント予約」情報を、内蔵メモリーまたはメモリーカードに記録するフォーマットです。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや CCD などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより CCD に与える光量を一定にしています。CCD に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は+ 1、半分になると EV 値は－ 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

JPEG：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）: 動画の圧縮方式 AVI（Audio Video Interleave）形式の 1 種です。ファイル内の画像は JPEG 形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。

- **Windows**：Windows Media Player（DirectX8.0 以降）
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

スミア：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写る CCD 特有の現象です。

デジタルズーム：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数･時間は規則正しく減少しないことがあります。

■ FinePix J27

ピクセル		10M F	10M N	9M 3:2	5M	3M	2M	03M	640 (30 フレーム／秒)	320 (30 フレーム／秒)
記録画素数		3664 × 2748 (約 1007 万)		3664 × 2442 (約895万)	2592 × 1944 (約504万)	2048 × 1536 (約 315 万)	1600 × 1200 (約 192 万)	640 × 480 (約 31 万)	640 × 480	320 × 240
画像一枚のファイルサイズ		約4.9MB	約2.5MB	約 2.2MB	約 1.3MB	約 970KB	約 720KB	約 190KB	—	—
内蔵メモリー (約 10MB)		1	3	4	7	10	14	53	7 秒	16 秒
SDメモリーカード	512MB	95	190	210	370	510	690	2540	6 分	12 分
	1GB	180	360	410	710	970	1310	4850	12 分	28 分
	2GB	370	730	820	1430	1950	2630	9710	25 分	57 分
SDHCメモリーカード	4GB	750	1470	1650	2860	3900	5270	19430	50 分	116 分
	8GB	1510	2950	3300	5720	7800	10550	38860	100 分	229 分
	16GB	3020	5910	6620	11450	15600	21110	77730	204 分	467 分
	32GB	6050	11830	13240	22910	31210	42220	99990	406 分	927 分

- 動画を連続して記録する場合、約 2GB で自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。記録可能時間表示は約 2GB で計算されます。

■ FinePix J30

ピクセル		12M F	12M N	11M 3:2	6M	3M	2M	03M	640 (30 フレーム／秒)	320 (30 フレーム／秒)
記録画素数		4000 × 3000 (約 1200 万)		4000×2666 (約1066万)	2816×2112 (約595万)	2048×1536 (約 315 万)	1600×1200 (約 192 万)	640 ×480 (約 31 万)	640 × 480	320 × 240
画像一枚のファイルサイズ		約5.8MB	約2.9MB	約 2.6MB	約 1.5MB	約 970KB	約 720KB	約 190KB	—	—
内蔵メモリー (約 10MB)		1	3	3	6	10	14	53	7 秒	16 秒
SDメモリーカード	512MB	85	160	180	320	510	690	2540	6 分	12 分
	1GB	160	310	350	610	970	1310	4850	12 分	28 分
	2GB	320	630	710	1230	1950	2630	9710	25 分	57 分
SDHCメモリーカード	4GB	650	1270	1430	2470	3900	5270	19430	50 分	116 分
	8GB	1300	2550	2860	4950	7800	10550	38860	100 分	229 分
	16GB	2610	5110	5730	9900	15600	21110	77730	204 分	467 分
	32GB	5220	10230	11470	19810	31210	42220	99990	406 分	927 分

• 動画を連続して記録する場合、約 2GB で自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。記録可能時間表示は約 2GB で計算されます。

主な仕様

システム		
型番	FinePix J27	FinePix J30
有効画素数	1020 万画素	1220 万画素
撮像素子	1/2.3 型正方画素 CCD 原色フィルター採用	
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 10MB）	• SD/SDHC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**　DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.2　JPEG 準拠 /DPOF 対応	• **動画**　DCF 準拠（AVI 形式 Motion JPEG）
記録画素数（ピクセル）	• 10M **F** 3664 × 2748　• 10M **N** 3664 × 2748 • 9M **3:2** 3664 × 2442　• 5M 2592 × 1944 • 3M 2048 × 1536　• 2M 1600 × 1200 • 03M 640 × 480	• 12M **F** 4000 × 3000　• 12M **N** 4000 × 3000 • 11M **3:2** 4000 × 2666　• 6M 2816 × 2112 • 3M 2048 × 1536　• 2M 1600 × 1200 • 03M 640 × 480
ファイルサイズ	別表に記載（→ 96 ページ）	
レンズ	**名称**　フジノン光学式 3 倍ズームレンズ **焦点距離**　f=5.7mm ～ 17.1mm（35mm フィルム換算：約 32mm ～約 96mm 相当） **開放 F 値**　F2.9（広角）～ F5.2（望遠）	
デジタルズーム	約 5.7 倍（光学 3 倍ズームと併用　最大約 17.1 倍）	
絞り	［広角］F2.9 ～ F8.8、［望遠］F5.2 ～ F16	
撮影可能範囲（レンズ先端面からの距離）	**標準**：［広角］約 60cm ～∞、［望遠］約 60cm ～∞ **マクロ**：［広角］約 10cm ～ 70cm、［望遠］約 35cm ～ 70cm	
撮影感度	AUTO、ISO 100/200/400/800/1600/3200*（標準出力感度） * 最大記録画素数 3M	
測光方式	TTL256 分割測光	
露出制御	プログラム AE	
露出補正	− 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ（M 時）	
シーンポジション	（ベビー）、（人物）、（風景）、（パノラマ）、（スポーツ）、（夜景）、（夜景（三脚））、（ナチュラルフォト）、（ビーチ）、（スノー）、（花火）、（夕焼け）、（花の接写）、（パーティー）、TEXT（文字の撮影）	
ブレ軽減モード	あり	
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり	

資料

システム	
シャッタースピード	1/4 秒〜 1/1400 秒（AUTO モード）、8 秒〜 1/1400 秒（全モード合わせて） メカニカルシャッター併用
連写	連写速度：約 1 コマ / 秒、最大 3 コマ
フォーカス	・**モード**　シングル AF　・**AF 方式**　TTL コントラスト AF ・**AF フレーム選択**　センター固定
ホワイトバランス	シーン自動認識オート / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球）
セルフタイマー	約 10 秒 / 約 2 秒
フラッシュ	**方式**　CCD 調光によるオートフラッシュ **撮影可能範囲（感度：AUTO 時）** 広　角：約 60cm 〜約 3.5 m 望　遠：約 60cm 〜約 2.0 m マクロ：約 30cm 〜約 80cm
フラッシュ発光モード	オート / 赤目軽減フラッシュ / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ / 赤目軽減+スローシンクロ
液晶モニター	2.7 型 カラー液晶モニター約 23 万ドット（視野率 約 96%）
動画	640 × 480 ピクセル /320 × 240 ピクセル　30 フレーム / 秒、音声付き（モノラル）
撮影時機能	シーンぴったりナビ（自動シーン認識）、顔キレイナビ（顔検出機能）、フレーミングガイド、 コマ NO. メモリー
再生時機能	顔キレイナビ（顔検出機能）、赤目補正機能、トリミング、スライドショー、マイクロサムネイル、マルチ再生、 日付再生、画像回転
その他の機能	PictBridge 対応、Exif Print 対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、英語）、 世界時計（時差設定）

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL 方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 Full Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45A（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安（フル充電時）	**電池の種類**　NP-45A　**撮影枚数**　約 165 枚 CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
充電時間	約 155 分
本体外形寸法	92.0mm × 55.9mm × 20.0mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約 113g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	約 130g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**　0℃～＋ 40℃ **湿度**　85％ 以下（結露しないこと）

バッテリー NP-45A	
公称電圧	3.7V
公称容量	720mAh
使用温度	0℃～＋ 40℃
本体外形寸法	31mm × 39.4mm × 5.7mm（幅×高さ×厚み）
質量	約 15g

AC パワーアダプター AC-5VA	
定格入力	AC100V ～ 240V　50/60Hz
入力容量	10VA（100V） 20VA（240V）
定格出力	DC5.0V　1A
外形寸法	25mm × 49mm × 40.8mm（幅×高さ×厚み）
質量	約 58g（本体のみ）
使用周囲温度	0℃～＋ 40℃

※ 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
- 電波干渉が強い場所（磁場、静電気、回線ノイズなど）では、カメラが誤動作することがあります。
- レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

索引

[アイコン]

[A ～ Z]

[あ]

[か]

[さ]

[た〜な]

[は]

[ま〜や]

[ら〜わ]

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。下記の表の設定は、撮影状況によって変わることがあります。お使いの機種によって、設定できる [モードアイコン] は異なります。

✔：選択可能

		[カメラ]	SR AUTO	[人物顔]	[人物群]	[横顔]	[山]	[パノラマ]	[スポーツ]	[夜]	[夜景人物]	[N]	[ビーチ]	[スノー]	[花火]	[夕焼け]	[花]	[パーティー]	TEXT	[カメラ]M	[動画]
[顔検出]	[顔検出] ON	✔	✔[1]	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔		✔		✔		✔	
	[顔検出] OFF	✔		✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔[1]	✔	✔[1]	✔	
[マクロ] ON		✔		✔	✔							✔					✔[1]		✔[1]	✔	
[マクロ] OFF		✔		✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]		✔[1]		✔	
[フラッシュ]	AUTO	✔	✔		✔	✔			✔				✔	✔				✔[1]		✔	
	[赤目軽減]	✔	✔		✔	✔							✔	✔		✔		✔		✔	
	[強制発光]	✔	✔		✔	✔			✔				✔	✔		✔			✔	✔	
	[発光禁止]	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔[1]	✔	✔[1]		✔	✔	
	S[フラッシュ]					✔				✔	✔									✔	
	[赤目] SLOW					✔				✔	✔									✔	
[露出補正]																				✔	
[WB]								✔												✔	
[ISO]	AUTO	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	
	100																			✔	
	200																			✔	
	400																			✔	
	800																			✔	
	1600																			✔	
	3200																			✔	

			SR AUTO									N							TEXT	M	
		✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
		✔		✔	✔	✔	✔	✔[2]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]
		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	12M F / 10M F	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	12M N / 10M N	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	11M 3:2 / 9M 3:2	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	6M / 5M	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	3M	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	2M	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	03M	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	640																				✔
	320																				✔

1 固定

2 パノラマ撮影時のズーム操作は 1 コマ目のみ可能

3 撮影中はデジタルズームのみ操作可能

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストール、FinePixViewer の使い方は使用説明書（本書）やFinePixViewer のヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ

(http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html)、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

・カメラの機種名
・FinePixViewer のバージョンまたは CD-ROM のタイトル
・エラーメッセージ
・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
・ご使用の PC 機種名、OS バージョン名、他の接続機器名

資料

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
·あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。

・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。

・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。

・落下·衝撃 、砂·泥かぶり 、冠水·浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。 大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。

・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合がありま す。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所·氏名·電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難·漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット ：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  ナビダイヤル : 0570-00-9555
  ※受付時間 : 月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ※PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、「0228-35-3586」に電話してください。
  ファクス : 0570-06-0070
  申し込みに際し、107 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急 30 分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。
- 故障の内容によっては対応できない場合があります。

- 下記サービスステーションにて FinePix 特急 30 分修理を実施しております。

東京 大阪 名古屋 札幌 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。 ※仙台サービスステーションでは FinePix 特急 30 分修理は実施しておりません。

- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。
  ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

■ 修理に関する情報は

・修理サービス Q&A
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

・修理納期検索サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。

・FinePix 修理概算見積サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

FinePix J27/J30 修理依頼票

※予め107ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本ページは拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

<table>
<tr><td>フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">電話番号</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">お 名 前</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>FAX番号</td><td></td></tr>
<tr><td>ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　　　－</td></tr>
<tr><td>ボディ番号（機番）
保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。
修理お問合せ時にご連絡ください。</td><td colspan="3">NO.</td></tr>
<tr><td>修理品への添付</td><td colspan="3">□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー
□（　　　　）　□（　　　　）
□（　　　　）　□（　　　　）</td></tr>
<tr><td>見 積</td><td colspan="3">□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要</td></tr>
<tr><td>見積連絡方法</td><td colspan="3">□電話　・　□ＦＡＸ</td></tr>
<tr><td>故障症状（故障時の様子）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ご購入時期</td><td colspan="3">20　　年　　月</td></tr>
<tr><td>修理履歴</td><td colspan="3">□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）</td></tr>
<tr><td>発生状況 発生頻度</td><td colspan="3">□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）</td></tr>
<tr><td>発生状況 動作モード</td><td colspan="3">□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると</td></tr>
<tr><td>発生状況 他機との接続</td><td colspan="3">□無　・　□有（接続機　　　　）</td></tr>
<tr><td>発生状況 使用電源</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル 0570-00-1060 / 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は 0228-35-1088

市内通話料金でご利用いただけます
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX 0570-06-7555 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/　※弊社ホームページの自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

●修理の受付は…　※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル 0570-00-0081 / PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は 0228-35-3586

⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX 0570-06-0070 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：0228-35-3586

▶ お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス

インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / ナビダイヤル：0570-00-9555

■修理品お持込窓口　全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。

サービスステーションにつきましては、当社ホームページhttp://fujifilm.jp/をご確認ください。

▶ お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

- 故障の内容によっては対応できない場合があります。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712

Printed in China